(19)日本国特許庁（ＪＰ）　(12)公開特許公報（Ａ）　(11)特許出願公開番号
特開2003－204810
（P2003－204810A）
(43)公開日　平成15年７月22日(2003.7.22)

(51)Int.Cl.[7]	識別記号	ＦＩ	テーマコード（参考）
Ａ４４Ｃ　5/00		Ａ４４Ｃ　5/00	Ｈ
Ａ４５Ｃ　13/00		Ａ４５Ｃ　13/00	Ｌ

審査請求　未請求　請求項の数４　書面　（全 3 頁）

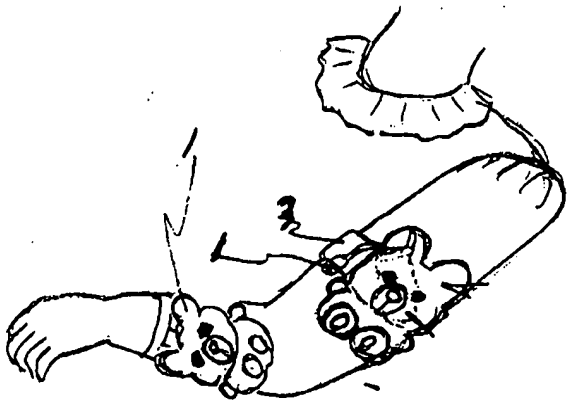
(21)出願番号　特願2002－39315(P2002－39315)

(22)出願日　平成14年１月10日(2002.1.10)

(71)出願人　000124498
河村　光恵
愛知県名古屋市北区如意２丁目145
(72)発明者　河村　修治
愛知県春日市１丁目４番地10

(54)【発明の名称】　キャラクターデザイン腕章

(57)【要約】
【課題】家の中にいても携帯電話は手元からはなせない．ポケットなどに入れてはいるが、重くてぶらつき、トイレに入った時などすべり落ちて困っていた。
【解決手段】昔のダッコちゃんのようにアクセサリー感覚で身につけることができる。ネクタイのようにシャレタ感覚の腕章にし、携帯電話機を収納すれば、おとなも子どもも心がなごみ、多くの人が持つ携帯電話の呼び出しベル公害がなくなる。腕につけたことで毎日バイブレーションにすることで。個人だけに知らせるバイブレーションーを腕で素早くキャッチでき、突然鳴り出す携帯電話の不安から開放された。



1

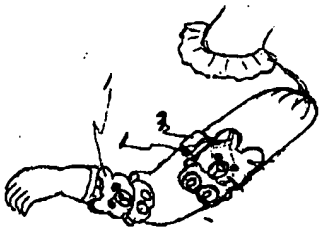
【特許請求の範囲】
【請求項１】　図１参照　キャラクターデザイン腕章。ファッション感覚の腕章。腕時計のように、手首にも自由にできるものなり。
【請求項２】　これらのキャラクターの中に小物入れ袋を設置し、携帯電話機やカード、ペン、メモ帳などいれて利用するものなり。左右どちらの腕につけても、出しいれが楽なように、入りぐち１０は上部に斜めにハの字形に、二箇所つける。中の袋は一つではなく、それぞれ二箇所二つになっているものとする。携帯入れ場と、カード、ペン、メモ帳など入れにする。携帯電話機を出す時、カードなどがいっしょに、出てしまうのを防ぐため。
【請求項３】　これらの小物入れ付腕章は、手を上下させてもすべり落ちないよう、内部の布をすべらない素材を使用するものなり。
【請求項４】　腕章が下がらないように、１１の布と腕の服とを１２の安全ピンで、ブローチを止めるように一箇所とめる。ごみ取りローラーに使用してある、粘着素材を腕章の裏に装備したりもする。腕章の裏はすべらない素材を使用する。
【発明の詳細な説明】
【０００１】
【発明の属する技術分野】携帯電話をバイブレーションにした時など、電話機は手に持っているか、ポケットに持っていないとわかりにくい。しかし携帯電話機はポケットからすべり出やすく、トイレに入った時、落とすことがよくある。カードなどいつも身につけておきたい最小限度の持ち物を手に持つのでなく、身に付けておきたいと思った。ただの袋でなく、ちょっとしたオシャレにもなるようにと考えた。
【０００２】
【従来の技術】携帯電話をバイブレーションにした時など、カバン、手提げなどに入れておいては、振動ではわからない。ポケットにいれておくとトイレに入った時、電話機の重さですべり落ちて困っていた。
【０００３】
【発明が解決しようとする課題】家の中にていも、電話機から少し離れると、もうベルの音は聞こえなく、電話をした人に迷惑をかけることになる。今の時代片時も離せない電話機はやかましいベルの音でなく人に迷惑にならない、自分だけにわかる振動にしておきたいものと考えた.
【０００４】
【課題を解決する為の手段】上記のような課題を解決する為の手段として、じゃまにならない腕に、シャレた腕章にして電話機の収納袋を取り付けた。落ちることなくどこへ行っても、持ち運ぶことが出来電話機に神経を使わなくてもよくなった。振動にしておいてもすぐ腕で察知でき、うるさい電話のベルに、まわりに迷惑をかける

2

ことがさけられる。
【０００５】
【発明の実地の形態】図３の携帯電話機袋又はキャラクター袋の裏の上部に、携帯電話機やカード、ペン、メモ帳など入れやすいように、ハの字に入り口、図３の１０を二箇所作る。左腕、右腕どちの腕に腕章をはめた時でも、電話機が出しやすく、しまいやすくした。図３の二つの１０のポケットの中は右、左二つのポケットとなっている。電話機を取り出すときカードやペンや小物がいっしょに出てしまうのをふせいだ。ポケットの布はすべらない素材の布を使用する。
【０００６】図３の１０と１０の間の１１の布は、下部はキャラクターに、しっかり縫い付け上部はひらひらとしておく。ここに安全ピン１２をつけておき、腕の着るいに安全ピン１２でとめる。腕章が下がらないようにした。したがって、腕章は硬くしめなくてよい。ゆれない程度に固定できればよい。
【０００７】腕章の部分は高尚な柄にし、ゴムも交え４のバックに通し折り曲げて５のマジックテープ（登録商標）につけ調節する。腕章は常にワッパにしておき、腕を通して人それぞれの寸法に決めておきあとは、そのままゴムの調節だけで、腕につけたり、とったりできる。安全ピンを使うので腕章はきつくしなくてもよい。
【０００８】
【実地例】昔のダッコちゃんのようにアクセサリー感覚で身につけられ、忙しい毎日に、電話機のベルにいつも神経を使うことから救われる。トイレに入っていてもベルはなる。すぐ取り出せじゃまにならず、一日中振動にしておいても、腕でかならずキャッチでき毎日の神経が安らかになった。
【０００９】
【発明の効果】ネクタイのようなしゃれた腕章に、センスのいい可愛いキャラクターを添えた電話機収納入れは、おとなも子どもも、心がなごみ、多くの人の持つ携帯電話の呼び出しベルの音が、振動のバイブレーションにすることができれば、ベル公害から救われる。人に迷惑をかけず、腕で振動を、かならずキャッチでき安心な毎日になる。手荷物を持たなくてすみ、身がるになった。
【図面の簡単な説明】
【図１】　キャラクター腕章兼携帯電話機収納袋を腕や手首につけている図
【図２】　腕章の図
【図３】　図２のキャラクターの前部をはがした中の図腕章の部分はゴムを交えマジックテープバックなので調節できるようにする。
【図４】　腕章の調節の図　２のゴム、５のマジックテープなどを使い調節をする。
【符号の説明】
1　キャラクターや携帯電話機入れ袋

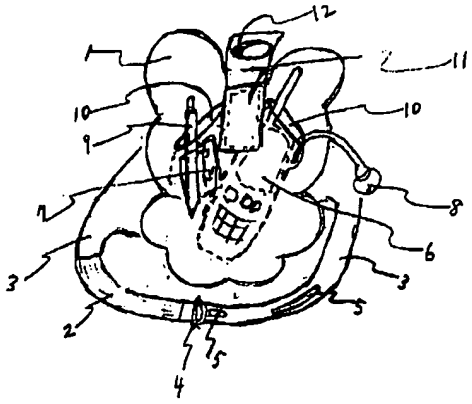
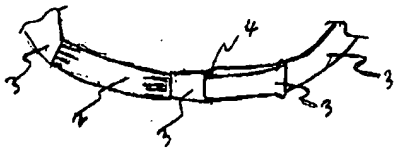
2　腕章ののの中のゴムの部分
3　腕章の部分
4　腕章の調節パック
5　マジックテープ
6　袋に収納した形態電話機
7　カードなどちょっとした小もの
8　携帯電話機についてする飾り。これを引っ張ってとりだす。
9　ペン
１０　携帯電話と小物入れの二箇所の袋の口袋が深いことと、入り口が斜めのことと、腕章で押さえることでふたはいらない。
１１　服に止める安全ピンをつける布
１２　服に取り付ける安全ピン

【図１】



【図２】

【図３】



【図４】